

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和6年度 東中だより 第18号	発行日	令和7年2月7日
教育目標	新しい多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【進路選択(入学試験)】

2月10日に多くの3年生は、専願・併願を含めて、私立受験に臨みます。また、2月17日に公立高校の推薦・特色選抜、多部制1期の試験があります。1月31日に開催しました1、2年生保護者対象の進路説明会では、231家庭、約250人の保護者のみなさまにお越しいただき、誠にありがとうございました。

さて、高村光太郎の『道程』の言葉に「僕の前に道はない、僕の後ろに道は出来る」とあります。人生には進路や就職などを決断する時など、たくさんの節目があり、その都度、誰もが悩みます。しかし、いくら悩んでも正しい答えは見つかりません。人生の選択肢はどこがいいのか、答えは予め決まっているものではありません。したがって、どちらが正解ということではなく、どの道を選んだとしても、その道を大切に歩いていくことが重要です。



そして、後から振り返って、これでよかったと思えるように努力して歩いていくことが大事です。つまり、答えは、人生は自分で作っていくしか他に方法はないということです。ただ、状況が変わったら、その都度、柔軟に軌道修正していかなければいけません。人生は、その繰り返しで、自分で考える力を養って、将来に渡って鍛えていかなければいけません。

ドイツの大文豪であるヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテは、「自分一人で石を持ち上げる気持ちになかったら、二人でも持ち上がらない」という言葉を残しています。これは、チームワークは大切であり、チームワークなくしては、これからの社会において色々なことを成し遂げることはできません。しかし、それは人に依存するということではなく、自分が何をしたいのか、どのような道に進めたいのかという考えや思い、志を持っていなければ、いくら多くの人が集まっても成し遂げることはできません。また、自己成長をすることもできません。

Appleの創業者スティーブ・ジョブズやAmazonの創業者ジェフ・ベゾス、渋沢栄一などの伝記・自伝・自叙伝を読めば、わかることがあります。彼らは、

「スーパーマンであって自分とは全く違う」と感じるかもしれませんが、彼らも最初から成功者であったわけではなく、困難や逆境に直面しながら、自分の思いや夢を叶えようと努力し、ある時は我慢し、またある時は流れに身を任せるなどして乗り越えてきました。立ち足かかる壁を少しずつ登っていった結果、思ってみないほどの高い地点に到達していたのではないかと思います。

面接受験がある3年生全員に面接指導をさせていただきました。みんな自分の夢や目標をしっかりと話してくれました。これからの人生、いくらでも夢や目標が変わるかもしれませんが、何歳になろうと、何らかの目標を持って突き進んでいくことは大切なことです。また、目標を持って取り組んでいる人は魅力的です。

ただ、散歩のついでに日本一高い富士山や世界一高いエベレストに登ることは決してできません。登ろうという決意を持ち、強い意志と覚悟のある人だけが登ることが出来ます。自分の夢や目標、志を立て励んでください。未来の自分をつくるのは、今の自分です。みなさんのがんばりを応援しています。

【イチロー選手】

日本選手として初めてアメリカ野球殿堂入りを果たし、日米を通じて野球殿堂入りの偉業を成し遂げられました。



ただ、イチロー選手は入団当時、変則的な打撃フォームを認められず、2年間はほとんど2軍生活でした。しかし、イチロー選手を育てた仰木監督は、「変わった打ち方だが、ミートが上手い」とイチロー選手の才能を見だし、1軍に昇格させました。仰木監督の「長所を伸ばす」という視点はとても素晴らしいです。現に、今回のように終生語り継がれる名選手を発掘しました。

友だちや家族、自分も含めて、周りにいる人たちの「よいところに目を向ける」と、その人の頑張りが見え、互いを認め合うことにつながり、結果として、居心地のよい生活を送ることができると思います。

イチロー選手の名言を紹介します。『努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。人が僕のことを努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。』『自分が全く予想しない球が来たときにどう対応するか。それが大事です。試合では打ちたい球は来ない。好きな球を待っていたのでは終わってしまいます。』